

令和6年3月21日 修了式 校長講話

校長先生から、令和5年度の修了式のお話をします。

1学期・2学期は「終業式」といいますが、3学期のさいごは「修了式」といいます。修了というのは、それぞれの学年の勉強をやり終えたという意味なので、今日は1つの区切りでおめでたい日です。

1年間、たくさんの授業がありました。1年間、たくさんの行事もありました。そして、今年度は創立150周年記念の特別な行事もありました。盛りだくさんの1年間だったと思います。

そんな盛りだくさんの1年間で印象に残っていることはたくさんありますが、例えば150周年のことと言ふと、みなさんが言葉を考え、教頭先生が歌詞にまとめ、4年生の宮野先生が曲をつけた「青空」があります。あれいい歌ですね。全校児童で歌った歌声に感動しました。150周年では、姫島地域に伝わる地車のことや、姫島小学校の歴史のことも知ることができました。貴重な機会だったと思います。

みなさんにとっては、どんな場面のどんなことが特に印象に残っているでしょう。きっと、たくさんあって困ってしまうくらいですね。それは、この1年が充実していたということです。

そんな盛りだくさんの充実した1年をすごすことで---

さあ、あらためてみなさんにきいてみましょう。

Q : 「みなさんはこの1年間で成長することができましたか？」

Q : 「どのようなところが成長しましたか？」

成長とは、できなかつたことができるようになることです。わからなかつたことがわかるようになることです。気づけなかつたことに気づけるようになることです。自信に思える「強み」（良いところ）を身につけた「強い子」に近づいていくことです。

どのようなことができるようになっただろう。どのようなことがわかるようになっただろう。どのようなことに気づけるようになっただろう。今日はあらためて考えてみてくださいね。きっと、どの子にもいろいろたくさんあるはずだから。みんなの成長に拍手です。

さあ、明日からは17日間の春休み。ゆっくり休み、時間に余裕がないとできないことをたくさんして、家族とたくさんの時間をすごし、新しい学年に向けての元気とやる気をたくさんたくさんしてください。ただし、好き放題にすごすのではなく、この後の生活指導の先生のお話や担任の先生のお話をよくきいて、気をつけなければいけないことにはしっかりと気をつけてください。充実した春休みを願っています。

新しい学年になったら、できなかつたことがもっとたくさんできるようになるといいですね。わからなかつたことがもっとたくさんわかるようになるといいですね。気づけなかつたことにもっとたくさん気づけるようになるといいですね。「強い子」に向かってたくさんたくさん成長していってほしいです。応援しています。